

## ま え が き

本県は「日本のひなた宮崎県」のキャッチフレーズが示すとおり、全国トップクラスの日照時間、快晴日数など、温暖な気候の下、豊かな森林や水資源、さらにはそこで育まれる多様な動植物など、素晴らしい環境に恵まれています。

一方、地球温暖化に伴う記録的な豪雨や高温などの異常気象、自然生態系の変化、プラスチックごみによる海洋汚染などの環境問題は地球規模で深刻化しており、私たちの身近な生活にも影響を及ぼしていることから、県民一人一人のライフスタイルや社会経済システムそのものを、環境に配慮したものに転換し、県民、事業者、団体、行政等が力を合わせて環境保全に取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、環境行政の基本方針である「宮崎県環境計画（改定計画）」において、「日本のひなた『太陽と緑の国みやざき』の実現」という長期的な目標を掲げ、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、森林の整備、野生動植物の保護、大気や水質等の監視による良好な生活環境の保全など幅広い対策を講じることにより、本県の恵まれた自然環境を守り、生かすことによる持続可能な社会の実現に取り組むこととしています。

この白書は、令和元年度の本県における環境の状況と、環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組が更に進むことを切に願っております。

令和3年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣